

築地本願寺内 東京ビハーラ主催

## 第15回がん患者・家族語らいの会・オンライン講演会

### 講師：東條 明子氏

(浄土真宗本願寺派布教使・被爆証言者)

講題：「南無阿弥陀仏に生かされて」 **動画視聴**

日時：2021年8月7日(土)14時～16時半 参加費：無料

#### 【講師プロフィール】

1935年(昭和10年)東京・新宿(旧淀橋区)に生れる。昭和20年当時10歳の東條氏は3月に東京大空襲、8月には疎開先の広島で原爆を体験。証言活動を通してお釈迦さまのみ教えを伝え続けている。東京仏教学院本科・研究科卒・武蔵野大学大学院修士課程卒。浄土真宗本願寺派布教使。東京教区布教団委員・被団協東友会会員。2015年ニューヨーク国連本部NPTに参加。2019年築地本願寺へいわフォーラムに出演。

#### 【講話の内容】

(前半)東京大空襲の直後、母と妹弟4人で広島へ疎開し、爆心地から4キロメートルの祇園国民学校で被爆しました。教室の窓ガラスを清掃しながら空を見たとき、B29から何か落ちたと思った瞬間、周囲に閃光。轟音と爆風でガラスが割れ、壁や天井が崩れ落ち、瓦礫に埋もれました。なんとか家に帰り着くも瓦礫の山。皮膚が垂れ下がり、ガラスの破片が刺さった人びとが次々と力尽きて往きました。

心の苦しみを救ったのは親鸞聖人のみ教えでした。

(後半)平成31年(令和の直前)、私にとって姉のような法友Nさんがすい臓がんのためご往生されました。発病から6か月でした。最後は在宅看護を選ばれ、手術も治療もせず、唯、阿弥陀さまに抱かれ、苦しみからも解放されたいのちの終りを目のあたりに見せていただいた日々…。



第15回オンライン講演会にご参加をご希望される方は、下記をご参照の上、お申込みをお願い致します。参加方法：参加を希望する方は、①氏名 ②携帯電話番号 ③お持ちの(パソコン、タブレット、スマホ等④講演会参加のきっかけ)について入力の上、下記アドレスまでご返信下さい。

申し込み先：浄土真宗東京ビハーラ 担当太田うらら [urara.ota@gmail.com](mailto:urara.ota@gmail.com)

問い合わせ先：浄土真宗東京ビハーラ 平日14時～17時 TEL/FAX：03-5565-3418

参加締切日：2021年8月5日 (木)